



からしだね

2020年6月号
(560号)

キリストの受難 カトリック池田教会

主任：ノノイ・プラザ神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624

URL(ホームページ)：<http://catholic-ikeda.sakura.ne.jp/church/index.htm>



本号の記事の主題など

「教皇フランシスコ、2020年5月にあたってすべての信者に送る手紙」より

5月30日(土)から主日ミサが再開されます
耐震工事だより

大阪大司教区の新型コロナウイルス感染症
にともなう措置(第8次)

日生中央教会との合同黙想会は中止

カール記念館一階ホールが聖堂に
みんなの談話室(4篇)

不安の中でイザヤ書30章に立ち返って
ボチボチいきまひよ

積読の「福音の喜び」をやっと読めた
一冊の絵画集

日曜学校、新入生を募集中

「教皇フランシスコ、2020年5月にあたってすべての信者に送る手紙」より

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、

わたしたちの母マリアの心でキリストのみ顔をともに観想することは、霊的な家族としてのわたしたちの結びつきをさらに強め、この試練のときを乗り越える助けとなるでしょう。わたしは皆さんのため、とくにもっとも苦しんでいる方々のために祈ります。皆さんもわたしのために祈ってください。感謝を込めて、心から皆さんに祝福を送ります。

五月も間近となりました。五月は、神の民がとりわけ熱心におとめマリアへの愛と崇敬を表す月です。五月には家庭で家族一緒にロザリオの祈りを唱える伝統があります。感染症の大流行によるさまざまな制約の結果、わたしたちはこの「家庭で祈る」という側面がなおさら大切であることを、霊的な観点からも知ることになりました。

そこで、わたしはこの五月に、家庭でロザリオの祈りを唱えるすばらしさを再発見するよう皆さんにお勧めしたいと思ったのです。だれかと一緒に唱えることも、独りで唱えることも、どちらの機会も最大限に活用して、状況に応じて決めることができます。これを行うための秘訣は、わかりやすさです。祈りのよいお手本は、インターネットでも簡単に見つかるでしょう。

それから、聖母にささげる祈りを二つ用意しました。ロザリオの祈りの結びに唱えたらよいと思います。わたしも五月の間、皆さんと心を合わせて祈ります。皆さんに使っていただけるよう、この手紙に添えてあります。

親愛なる兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの母マリアの心でキリストのみ顔をともに観想することは、霊的な家族としてのわたしたちの結びつきをさらに強め、この試練のときを乗り越える助けとなるでしょう。わたしは皆さんのため、とくにもっとも苦しんでいる方々のために祈ります。皆さんもわたしのために祈ってください。感謝を込めて、心から皆さんに祝福を送ります。

ローマ、サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラノ大聖堂にて
2020年4月25日 聖マルコ福音記者の祝日に
フランシスコ

マリアへの祈り 二^注

神の母聖マリア、あなたのご保護により頼みます。

神の母、わたしたちの母マリア、全世界が苦しみと不安に襲われているこの過酷な日々の中で、あなたのご保護により頼み、助けを求めます。

おとめマリア、

新型コロナウイルス感染症の大流行のただ中にあるわたしたちに、あわれみの目を注いでください。

愛する人を亡くした悲しみに打ちひしがれている人、

亡くなった人を大切に葬ることもできずに涙を流している人を慰めてください。

病に罹った愛する人を気遣いながらも、感染防止のために、寄り添うことのできない人を支えてください。

将来が見通せず、収入や仕事への影響を心配して不安に陥っている人に、希望をお与えください。

神の母、わたしたちの母マリア、

わたしたちのために、いつくしみ深い父である神に執り成してください。

この大きな苦しみが終わりを迎え、希望と平和を新たに見いだすことができますように。

カナの婚宴でなさったように、御子に取り次いでください。

患者や犠牲者の家族が力づけられ、その心が開かれて御子を信頼することができますように。

この危機の最前線で、命がけで人命の救助にあたっている医師、看護師、医療従事者、ボランティアをお守りください。

勇気を奮って力を尽くすこの方々を励まし、力と惜しみない心と健康をお与えください。
病者を昼も夜も見守っている人々、牧者の心で福音に従い、
一人ひとりを助け、支えようとする司祭たちに寄り添ってください。

おとめマリア、

科学者の心に光を注いでください。

このウイルスに打ち勝つ効果的な方法を見いだすことができますように。

各国の指導者を支えてください。

知恵と心遣いと惜しみない心をもって、生活に必要な物にも事欠く人々を助け、

将来への展望と連帯の精神をもって、

社会的、経済的な対策を講じることができますように。

聖マリア、

わたしたちの良心を突き動かしてください。

軍備の拡張のために費やされる莫大な費用が、

将来、このような悲惨な出来事を繰り返さないための必要な研究に使われますように。

愛する母マリア、

わたしたちがすべての人とのつながりに気づき、ただ一つの大きな家族の一員であるという思いが、
世界に広がるようにしてください。

愛と連帯の精神をもって、貧困や悲惨な状態を改善するために役立つことができますように。

信仰を堅く守り、粘り強く奉仕し、絶えず祈る者としてください。

悩み苦しむ者の慰めであるマリア、

病に苦しむあなたのすべての子らを抱きしめてください。

神が全能のみ手を差し伸べ、この恐ろしい感染症の大流行からわたしたちを救ってくださるようお祈りください。

普段どおりの穏やかな生活を取り戻すことができますように。

聖マリア、

救いと希望のしるしとしてわたしたちの道を照らしてくださるあなたに、この身をゆだねます。

おお、いつくしみ、恵みあふれる喜びのおとめマリア。

アーメン。

注：2篇の「マリアへの祈り」のうち、(二)だけを掲載した。

5月30日(土)から主日ミサが再開されます

池田教会信徒の皆様へ

大阪府、兵庫県において緊急事態宣言が解除され私たちは日常を取り戻そうとしています。

大阪大司教区においても5/31(日)(含む前夜)精霊降臨のミサから公開でのミサが実施できるように案内されています。

しかしながら、依然として新型コロナウイルスへの罹患する危険性は存在し今まで以上の注意が必要とされる場面もありえると思います。

池田教会での公開ミサの再開について当面は土曜日は17:00から日曜日は9:00からミサを行います。具体的には次のようになります。

5月30日(土)…17時から

5月31日(日)…9時から。

両日ともに密集を防ぐためには40人が限度と考えていますので、人数分散のため教会近隣にお住まいの方など可能な方は土曜日17:00からのミサに参加してください。

マスクの着用は必須とします。

日曜日でのミサ奉仕当番は地区で決まっている通りで行います。

大司教区からの案内通り無理をしてまで来る必要はありません。

以前お知らせした内容とは異なってきております申し訳ございません。

主の平和

評議会議長

耐震工事だより

耐震委員会・総務委員会

耐震工事の進捗と、これからの予定について皆様にお知らせします。

4月25日から始まった耐震工事も5月末ではや1カ月になりますが、まずこれまでの経過を簡単にご紹介します。

南側の窓を塞いでいた空調ダクトの撤去と空調機械室が解体されると、55年前に聖堂が建ったころの左右対称な美しい聖堂の姿が現れました。ノイ神父様は池田教会の聖堂の美しさを再認識され喜んでおられました。

その後、聖堂外周を囲う足場と、聖堂内陣にも天井作業が可能な足場が立つと、いかにも工事現場らしくなって、聖堂と幼稚園の間には、大きな溝が掘られ、いよいよ耐震壁を支える土台の工事が始まります。

一方聖堂内では、トイレ・小聖堂・告解部屋および玄関の建具と内装がはがされ、木の壁や床がむき出しになりました。

今後の工程ですが、6月に入ると第一週から幼稚園側はアスファルトで埋め戻されます。第二週は屋根防水の工事を行って、第三週は外壁の化粧直しが始まります。

作業は基本平日と土曜日に行われますが、日曜日は休みです。子どもたちにとっては、工事現場は興味津々で入ってみたいかも知れませんが、囲われたエリアには入らないでください。

なお、平日でも納骨堂は訪問可能です。納骨堂の外部扉から入りますが、聖堂西南側にある、ガードマン詰め所を訪ねて頂き、納骨堂を訪問希望とお伝え頂くと開錠頂ける約束です(日によっては入室が難しい日があるかも知れませんが、なるべく事前にお知らせします)。



聖堂は足場と仮囲いで仕切られ、そこは工事範囲ですので、立ち入ることができません。



洗礼盤の右隣にあった空調機械室と大きなダクトが撤去され、化粧直して囲いが外されるのが楽しみです。



西側の公道に面した鉄門は平日工事専用の資材搬入路となり、ガードマン詰め所が門の内側にあります。



小聖堂と幼稚園の間の通路の一部を1メートル以上掘って、新設の耐震壁を支えるコンクリート製の土台を埋設します。



堂内です。四囲を足場が走り、祭壇付近では天袋内に新規ブレース(筋交い)を施工する作業が進められています。



祭壇上に掛けられた足場の上から撮影した天井と天井扇です。普段真近に見ることがない天井ですが、近くで見ると傷みが目立ちます。屋根や建具など様々な個所で普段気付かない傷みに気づかされ、安心して集い祈ることができる聖堂を維持して行くことへの責任を痛感します。



小聖堂の畳が外された状態です。トイレを広くすると空調機を新設するため、畳一枚分ぐらい奥行きが短くなりますが、畳の和室に戻ります。



耐震工事で一番皆様に喜んで頂けそうなのはトイレです。今は、筆舌に尽くせない不便さを強いた器具とその配置、内装が取り外された状態です。乞うご期待。



小聖堂入口の右2つの倉庫は座布団置き場でしたが、建築直後は告解部屋だったのですね。扉の上に使用中を示すランプの跡があります。

大阪大司教前田万葉は本年2月28日から新型コロナウイルス感染症にともなう措置を次々と発して来られたが、5月21日、長文の第8次の措置を教区の皆様(司祭・修道者・信徒)宛に発せられた。それによると、これまで停止されていた主日ミサが再開され、その措置に付属したガイドラインを参考にして、信徒はミサに与ることが可能となった。執り行う公開ミサの実施の仕方は小教区・修道院・施設がある地域の事情、集まる人数の規模や構成などが大きく異なることになるので、新型コロナウイルス感染下にある教会での集まりについてのガイドラインには幾つかの目安が示されていて、それぞれの責任者が事情に合わせて最終判断し、信徒も自身の体調などに応じてミサに参列することが勧められている。第8次の一律の措置の後に、併せて選ぶべき幾つかの目安であるガイドライン全文を示す。

新型コロナウイルス感染症にともなう措置 (第8次)

2020年5月21日

教区の皆様

大司教 前田 万葉

+ 主の平和

ご存知の通り、出されていた緊急事態宣言は、14日に和歌山県、本日大阪府と兵庫県で解除されました。このような状況に鑑みて、以下のようにお知らせいたします。

1. 5月31日(日)聖霊降臨のミサ(含む前晩のミサ)から公開ミサを再開とします。ただし、各小教区や施設によってそれが無理な場合は責任者が再開するかどうかを判断してください。
2. 緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染症に対する注意は引き続き大切です。「新型コロナウイルス感染下にある教会での集まりについてのガイドライン」を以下に発表いたしますので、それぞれの事情に合わせて、今後の教会活動のひとつの目安としてください。
3. すでに発表した5月・6月の会議と行事の中止に関しては、変更はありません。
4. 状況が変わった場合は、改めてお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染下にある教会での集まりについてのガイドライン

教会は、神の国の建設のために司祭・修道者・信徒がともに歩いていく神の民の集まりです。新型コロナウイルス感染症の拡大に一定の歯止めがかかりつつありますが、ワクチンの普及などによる終息までにはまだまだ時間がかかると思われます。したがって、教会に皆が集う信仰生活が通常の形にもどるのもまだ先のことでしょう。それまでの間、段階的に自粛措置が解除されてくる中で、日本社会全体で取り組む新しい生活様式に合わせて、教会も歩いてまいりましょう。そのための具体的な指針をいくつかお知らせしたいと思います。

緊急事態宣言の解除にともなって関係自治体による指針が発表される場合は、基本的にそれに従ってください。

小教区・修道院・施設によって、地域の事情、集まる人数の規模や構成などが大きく異なりますので、それぞれの責任者が事情に合わせて最終判断をしてください。以下に示すのは、あくまで一般的な基準です。

1. 小教区の事情で、引き続き公開ミサができない教会の信者は、主日のミサにあずかる義務は免除されます。また、高齢者、病人、基礎疾患のある信者や、これらの人の介護や治療にあたる信者も同様です。
2. 本来信者は、ミサにあずかるためにどの教会へ行くかの自由をもっていますが、小教区の責任でミサに

来る人数を調整したり、ミサの数を増やす、または減らしたりという今の状況においては、通常行っている以外の教会に行くことはさけるように信者に伝えてください。ミサに行くことを自粛せざるを得ない苦しみを、祈りとしてささげてください。

3. このようなことから、主日のミサを次のようにする可能性があるでしょう。

- ① ミサが複数回ある場合、小教区の地区ごとにどのミサに来るかを指定する。
- ② 小教区の地区ごとや名字によるグループ分けなどによって、月のどれかの日曜日だけに来ってもらうようにし、全員が少なくとも月に一回はミサにあずかれるようにする。
- ③ ミサの時間を公表せず一般には非公開とした上で、地区など限定したグループの人たちだけにミサの時刻を知らせる。
- ④ 教会によっては、季節や天候上可能な場合、屋外でミサをする可能性もあるでしょう。
- ⑤ また、主日のミサとは意味合いが異なりますが、平日に来られる人には、平日をさけて平日に来ってもらうことも考えられます。

4. 小教区の教会堂は、ミサやその他の秘跡や葬儀、ロザリオなどの祈りの集いなどの公の礼拝が行われる際に開放されます。他の時間帯に開放するかどうかは、それぞれの場所の責任者が判断してください。

5. 以下、ミサに集まる場合を想定しての基準です

- ① 一人ひとりの間の距離を十分にとるように配慮してください。それにより、入ることができる人数が計算できますから、その人数内におさまるような方法（たとえば小教区内の地区ごとにミサの時間や日を限定する）で行うようにしてください。ただし、幼児や子供をふくむ家族単位で集まって参加することはかまわないでしょう。
- ② 会衆はマスクを着用します。
- ③ 基本的に、自分の持ち物以外には手を触れずに参加し、帰ることができるようにします。そのためには、聖水盤を使用しない、出入り口の扉を開放しておく、教会備品の聖歌集や祈りの本は使用しない、主日の「聖書と典礼」は各自がとらずに係の人から受け取るか席にあらかじめ置いておき式後持ち帰る、などの配慮が必要です。
- ④ 入り口付近や、手や指が触れがちなところ（エレベーターや手すりなど）の近くにアルコールなどの消毒液を置いてください。集まりのあとは、換気し、ベンチなどを消毒してください。
- ⑤ 司式者や奉仕者は、入念に手を洗うか、アルコールで消毒してから入堂します。奉仕者はマスクを着用します。互いの距離に配慮します。
- ⑥ 会衆が聖歌を歌うことは避けてください。会衆の応唱についても、大きな声で答えることは避け、司会者がマイクを通して代表で答えるようにします。拝領の歌などは、代表の一人が歌うことができます。
- ⑦ 朗読台と会衆席の間に十分な距離がない場合は、司祭を含む朗読者はマスクを着用します。
- ⑧ 堂内献金はミサ中に集めず、各自が入堂（無理なら退堂）の際に献金箱に入れるようにします。
- ⑨ 共同祈願が終わって感謝の典礼のために祭壇に近づく前に、司式者はマスクをつけます。
- ⑩ パンとぶどう酒の奉納（行列）は行わず、祭壇上に直接準備します。
- ⑪ 平和の挨拶では、握手など直接の接触は避けます。
- ⑫ 司式者自身の聖体拝領が終わると、聖体授与の前に司式者（と臨時の聖体奉仕者）は手を洗うかアルコール消毒をします。聖体授与中はマスクをします。
- ⑬ 共同司式の場合、司式者による御血の拝領はホスチアをぶどう酒に浸す方法で行います。
- ⑭ 司式司祭が高齢な場合は、なるべく臨時の聖体奉仕者が信者への聖体授与をするようにしてください。
- ⑮ 聖体を拝領する信者は、なるべく手で聖体を受け、拝領する際だけマスクをはずすようにしてください。また、拝領に並ぶ際には、「1列で2メートルの距離をあける」や「司祭が信者の席まで行く」などの工夫をします。
- ⑯ 聖体拝領の代わりに祝福を与える場合は、相手に触れずに頭上に挨拶するにとどめます。

- ⑰ ミサの後、出入り口が密にならないよう間隔を開けて退堂します。信徒会館などに集まって話をしたり、飲食をともにしたりすることは避けてください。
- ⑱ 教会報などの配布物は、「聖書と典礼」同様、各自がとるのではなく、係の人が各自に手渡したり、座席にあらかじめ置いておいたりしてください。

6. 以下は、他の秘跡についてです。

- ① 洗礼、初聖体、堅信、結婚の秘跡は、濃厚接触の機会になりやすいことを考慮し、可能な限り延期するようにしてください。どうしても実施する場合には、以下のような特別な配慮をするようにしてください。
- ② 洗礼の場合、短い形式を用い、洗礼者との直接の接触はなるべく避けます。塗油は、受洗者ごとに別々の脱脂綿や綿棒を用いて行い、使用後にそれを焼却します。
- ③ ゆるしの秘跡では、双方がマスクを使用します。また、秘跡の秘匿性を確保しつつ、社会的な距離を保ち、広く風通しの良い場所で秘跡を行うようにします。
- ④ 堅信の場合は、洗礼の場合と同様に、塗油にあたって受堅者ごとに別々の脱脂綿や綿棒(使用後焼却)を使用します。平和のあいさつは、受堅者に触れないようにします。
- ⑤ 結婚の場合、指輪の授与などの際、司式者は消毒した手で扱うようにします。結婚証明書への署名や書類を渡すときも、細心の注意を払う必要があります。
- ⑥ 病者の塗油のためには、短い形式を使用します。塗油にあたって受堅者ごとに別々の脱脂綿や綿棒(使用後焼却)を使用します。高齢の司祭はなるべくこの秘跡を授与することを避けてください。

7. 新型コロナウイルス感染者に対して、秘跡など司牧的配慮を行う際には、医療機関や保健所による指示を遵守しなければなりません。

8. 新型コロナウイルス感染者ではない病人や介護施設入所者、独居高齢者、死期を迎えた人への司牧的配慮は、互いの感染の危険に注意しながら行うようにしてください。

9. 通夜や葬儀については、基本的に主日のミサと同じ基準に従ってください。その上で、遺族にとってかけがえのない時間であることを考え、可能な限りの配慮をしてください。

10. 教会や施設における様々な集まりについて(含AA、GAなど)は、上記の基準を参考に責任者が判断してください。

誰もが感染者となる可能性、あるいはすでに感染者である可能性があることを忘れずに行動しましょう。同時に、どのような状況にあっても信仰と希望を失わず、いつそう配慮を必要としている弱い立場の人々に心を向けて過ごすようにいたしましょう。

2020年5月21日

大阪大司教区 大司教 前田 万葉

6月号の表紙写真について

表紙の写真は池田教会の聖母子像である。撮影はノイ神父様。今春のツツジ咲き乱れる写真にノイ神父様は聖母への祈りを添えられた。

おお、愛する御母マリアよ、
あなたにわたしたちはより頼みます。
病に罹った人々、弱い人々、亡くなった人々のために、あなたの御子に執りなしてください。
また、人々の健康や安全のために働く人々、病にかかりやすい人々、癒しを求める人々のためにも、執りなしてください。
アーメン。

みんなの談話室

不安の中でイザヤ書30章に立ち返って

3月よりミサもなくなり家で過ごす時間が長くなりました。何とも言えない不安の中で本を読む機会が増えました。家の本棚にある本を取り出してその不安をしずめたい気持ちで読みました。その中である本の中で出会った聖書のことばが大きな支えとなりました。

それはイザヤ書30章の中にある次のみことばです。

わが主なる神は、こう言われた。

「お前たちは、立ち返って
静かにしているならば救われる。

安らかに信頼していることにこそ力がある」

これは、神に頼らないでエジプトに頼ろうとする人々に向けられたことばです。いろいろなことを心配して右往左往している私に、立ち返ること、信頼することの大切さを教えてくれました。このみことば

は、大きな平安を私に与えてくれました。とは言ってもすぐに忘れしまうのでカードにこのみことばを書いて毎朝読むようにしています。

ここからは、少し宣伝です……聖書百週間では、百週間(実際には4年くらい)かけて旧約、新約聖書を読みます。旧約聖書を一人で全部読むのは、なかなか大変です。でも、仲間と毎週少しずつ読むと何とかできます。聖書研究ではないので、わからない、ここは腹がたった、など自由に分かち合います。何も言わなくても大丈夫です。ほかの人のわかちあいを聞くといつも新しい発見があります。わからないところは神父様にお聞きします。

4月から新しく創世記からはじまる予定でした。近いうちに再開できることを願っています。その時はどうぞいらしてください。お待ちしております。

K.I.

ポチポチいきまひよ

もちろん神さまは別。だけど正義の味方というのは「月光仮面」と「黄金バット」だけでいいんじゃないか。こんなことを思うのも、今回のできごとのなかで「自粛警察」とか呼ばれる人たちが出た(ている)というからである。政府の緊急宣言にしたがって自主休業しない飲食店があると嫌がらせする。他県ナンバーの車を見つけると、ひどいときはその車を傷つけたりするとか。

当人にすれば「自分は正しい」、「社会の利益になる」と信じこんでいるみたいである。だからやっかい。真剣そのものの「確信犯」ということになるのだろう。けれど嫌がらせを受ける方はたまらない。店が営業したからといって違法行為かどうかは警察が判断すること。他人が決めることじゃない。ましてや言葉の暴力で相手を傷つけるなど論外。自分の正体はあかさぬまま安全圏にいて、「生活の糧」を

得ようとする人たちの切実な営みを妨害する。巣ごもりストレス解消の方法としては、いやしく卑怯である。

「自粛警察」は極端な例かもしれない。ただ、それほどではなくても今回の騒ぎのなかで「正義の味方」、あるいはそれに準ずる人たちはたくさん現れたように見える。苦勞が多い政府側医療関連の専門委員を相手に、激しい言葉で対策の手ぬるさを批判した某政党の議員なども、わたしには「正義の味方」とうつつた。「正義」に酔うのは気持ちがいい。神の側に立った気分になれる。だが、現実の社会にあっては「正義」と「悪」の区別はそれほど明快でない。状況次第で白が黒になったり、黒が白くなったりする。生身の人間を相手にするときは注意必要。月光仮面も黄金バットも漫画の世界だからこそ、活躍できるわけだろう。

直

積読の「福音の喜び」をやっと読めた

コロナウイルス禍は特異な感染力は症状がない初期でも経口や皮膚接触によるウイルスの移動によって起こるので、その感染を阻止のためには人口過密な都市の封鎖や都市住民の不要不急な外出と三蜜(密閉、密集、密接)を8割減策が採られ、分業生産に基礎を置く現代の産業や商業やサービス業が集中した都市機能は殆んど停止した。

対面的な接触を介さないオンライン・デジタル情報の流れはより活用されたが、音楽や舞踊、スポーツなどの人体で表現される文化活動は機会を失い、対話や接触などを通して関係性が高められる共同体活動や教育や宗教などの諸活動は多様な人々の間の共感と連帯を維持する役割を果たすのが困難になった。

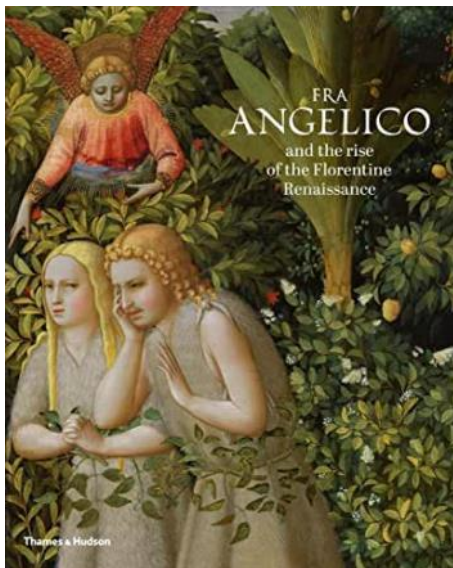
この間、高齢のわたしはコロナ感染を恐れて家に留まるばかりとなったので、数年前から積読していた教皇フランシスコ著「福音の喜び」(カトリック中央協議会刊、2013年)をゆっくりと読みだしたところ、十数年前に池田教会で受洗したときに司式された島神父さんから聖霊を既に賜ったはずなのに、「福音の喜び」の第三章「福音の告知」第117項に、聖霊は御父と御子イエスを一にする大きな役割を担うばかりか、多様なわたしたち信徒の一人ひとりに住まわれ、人々の間に調和と一致を促す神とイメージが定まると、多様な人々との間で共感を見出せるように助け、他者との間の相違点を補完性として尊重し合うのを促してくれるという記述にやっと納得した。自然界における狭い領域においてのみ有効な科学方法論から別れて、個体の生死を超えた世界まで命の流れを受け渡すのに有難き、頼もしい神として、我が胸の中に聖霊が留まるように願う。振り返ってみるとなんと長い年月を必要としたことであろう。

その前にある第二章「危機に直面する共同体」の一節を読むと、貪欲や虚栄心、権力欲などの悪を退けて、良いを成長させて、教会共同体がイエスの十字架の上での死から復活した

ように希望と連帯感に満ちた共同体へ変身するには、「神秘的なもの」を見つけ、それを人に伝える必要があると書いてある。「それは、共に生きる神秘、混ざり合う神秘、腕に抱える神秘、支え合う神秘、いくらか混沌とした潮流に加わる神秘です。この潮流は、兄弟愛の真の体験や、連帯の一団、聖なる巡礼になり得るものです」とも。このような教皇フランシスコの確信は、1970代からアルゼンチン国の首都ブエノスアイレスで司祭やイエズス会の管区長(1973年～)、ブエノスアイレス大司教(1998年～)として国が軍事政権とイデオロギー主体に導かれたグループ、分裂を厭わないエリート政党の政争で混乱する中で理性やイデオロギーではなく、信仰において誤りがない「信仰の感覚」を持つ貧しい人々と共に歩んだホルヘ・マリオ・ベルゴリオ(現教皇フランシスコ)に与えられた賜物であるように思われる。わたしも都市に顕れる「混沌とした激流に加わる」ならば、そこで遭遇した人々を介して、自分を守るための持ち物と思い込んでいる力と富、能力や驕りの壁は心の周囲に張り廻らされた薄い殻に過ぎず、その殻を崩してくれ、自分自身の貧しさと傷つきやすさを発見させ、同時に、愛する能力に気づかせてくれるかもしれない。そうならば、自分自身のありのままを率直に受け入れられるようになる希望の光がほんのりと灯るかもしれないと思いが飛躍する。

「福音の喜び」の第五章「聖霊と共にある福音宣教者」、一節「宣教を新たに推進するための動機」にある多くの項(264～280)に、簡潔に、神の愛、イエスとの友情、兄弟への愛、復活への希望、欠かせない信仰、永遠の命の流れ、などが四章までのまとめのように書かれているばかりでなく、それを邪魔立てする毒麦が、抽象的・一般的に書かれるのでなく、極めて具体的に示されているので、「え！それらは自分にもひんぱんにある」と気付かされた。そして最後に挙げた280項は、「すべての時代、そしてあらゆる瞬間において、何が必要であるかを聖霊はご存知です。これを、神秘的な実りというのです」と結ばれている。

一冊の絵画集



“ FRA ANGELICO and the rise of the Florentine Renaissance”,
Thames & Hudson 刊、2020.

ここ数カ月間、新型コロナウイルスの流行にともなう自粛生活の中で、ある一冊の本をオンライン通販で買い求めました。あの「受胎告知」で有名なフラ・アンジェリコという、ルネッサンス期のイタリアの修道士で画家だった人（職業としての画家ではなかったと考えられる）をめぐる作品集です。

その「受胎告知」にはじめて出会ったのは、ずいぶん子供の頃でした。行っていた教会の一室の壁に、そのレプリカが掛かっていたのです。子供ながらに、その品の良さどユニークな構図に強い印象を受けたのを覚えています。それがこの自粛生活の間、ネットで古今東西の名画を紹介するサイトを見ているうちに、ふたたび彼の作品に遭遇することがありました。それも「受胎告知」のほかに幾つもの作品にです。それらの作品のクオリティはまさにフラ・アンジェリコでした。

「やはり、この人は違う」、「もし、この人の作品集があれば…」そう思い立ち、ネットで調べはじめました。そこで「FRA ANGELICO and the rise of the Florentine Renaissance」という輸入本に行きあたり、迷わず注文しました。届いたのは、彼の作品やルネッサンスを中心とした少し重厚な美術書でした。

ウィキペディアによると、フラ・アンジェリコ(Fra'

Angelico)は本名はグイード・ディ・ピエトロ(Guido di Pietro)といい、“フラ・アンジェリコ”とは「修道士(当時のドミニコ会) = アンジェリコ(天使のような人物の意)」をあらわす通称だったようです。また存命中からイタリアでは「福者アンジェリコ」を意味するベアート・アンジェリコとも呼ばれ、1982年に時の教皇ヨハネ・パウロⅡ世によってフラ・アンジェリコは福者に列福されたことにより、名実ともに「ベアート・アンジェリコ(福者アンジェリコ)」になったということです(1984年にはキリスト教芸術家の守護者としても認定されたとのこと)。

今般の新型コロナウイルスの世界的流行を、中世のヨーロッパを襲ったペストになぞらえる人がいます。



フラ・アンジェリコ(1395-1455)の「受胎告知」

たしかに、ペストはそれまでの封建社会を揺るがし、その中でルネッサンスは勃興し、数々の天才を輩出しました。フラ・アンジェリコもそのような一人でしょう。そう考えるとこうした事態も、やがて当時のルネッサンスに代わる新たな時代の到来を告げるものとなり、ともすると彼らのような偉大な才人たちが今後現れ、世の人々を驚嘆させる日が来ないとも限らない…その本はそうした想像さえ抱かせる、そんな興味深い絵画集でした。

S. H.

5月30日発行版に誤って掲載された11ページの本文が全面的に訂正されています。

広報委員会

日生中央教会との合同黙想会は中止

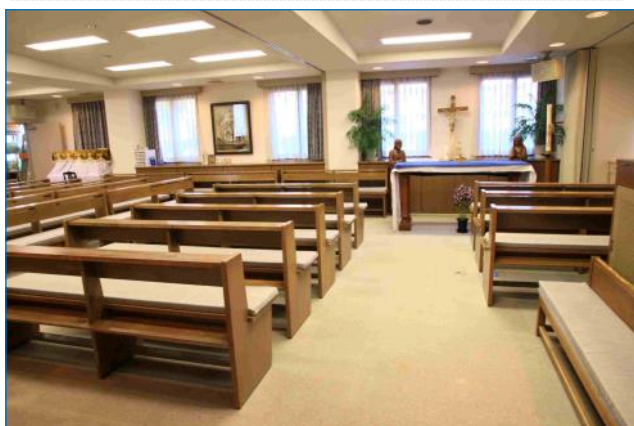
例年6月に開催された日生中央教会・池田教会との合同黙想会は2020年度は中止されることになりました。

研修委員会

カール記念館一階ホールが聖堂に



教会門から入ると工事中の聖堂が左に、カール記念館は右手。レンガ敷きのスペースは広くありませんから、ここには立ち止まらずに移動しましょう。



一階ホールに聖堂のベンチが全て入りました。互いの距離をおいてお掛け下さい。



カール記念館玄関ホールから見ると、正面に祭壇が置かれています。

日曜学校、新入生を募集中

対象者は幼稚園年中から高校3年生までです。小学2年生以上で初聖体がまだの子どもを対象に、初聖体クラスもあります。入学希望のお子さんをお持ちの方やお知り合いがいらっしゃるという方は日曜学校サポーターまでお声かけください。

尚、今年度につきましては、一学期始業式、及び今後の予定がまだ確定しておりません。6月一杯は休校です。今後の状況にあわせて子どもたちや教会の皆様の安全を最優先に考えた上で日曜学校を開始する予定です。

宝塚黙想の家から黙想会のお知らせ

■ 日帰り黙想会

6月25日(木) 10:00 ~ 15:30

指導: 染野治雄 神父

6月26日(金) 10:00 ~ 15:30

指導: 山内十束 神父



■ 月例黙想会

6月10日(水) 17:00 ~ 11日(木) 15:30

指導: 染野治雄 神父

■ 修道者の召命黙想会(年2回開催予定)

6月20日(土) 10:00 ~ 22日(月) 7:30

テーマ: 沈黙と聖書の分かち合い

対象者: 修道生活の召命を求めている独身男女

指導: 未定

各黙想会、費用等のお問い合わせは「宝塚黙想の家」まで。 ☎0797(84) 3111

編集後記

新型コロナウイルスはいまだ多くの国々で猛威を振るっており、これまでの人類社会のあり方を大きく変えようとしています。緊急事態が解除された日本でも第二波は必ず発生すると予想されています。これからの教会のあり方も「新しい生活様式」を取り入れたものになっていくのでしょうか。

先行きの見えない情勢ですが、教会は二千年の歴史の中で幾多の試練を乗り越えてきました。主により頼みつつ、この時代を教会とともに歩んでいきたいと思ひます。

パウロ